



発行 特定非営利活動法人 **NPO ぽぽハウス**
〒522-0043 彦根市小泉町 300-9 サノードビル 2F
(TEL) 0749-27-9777 ・ 21-0664 (FAX) 27-9888
E-mail popohouse@nifty.com ホームページ <http://www.popo-house.jp/>

ぽぽだより
新米編集部員が
いくっ!!

|| 特別編 ~新人スタッフさん 紹介~ ||

「ぽぽハウス」でスタッフとして元気に活躍している方を紹介するこのコーナー、今号は食事スタッフとして活動している馬場さんの紹介です。

はじめまして!! 11月から食事スタッフとして働かせていただいております、馬場と申します。

高齢者の方のお食事ということで、最初は不安でいっぱいでしたが、先輩方にご指導いただきながら、勤めさせていただいています。ひと口にお食事と言っても、献立から味付け、大きさ、柔らかさなど、こと細かに気を配っておられとても驚きました。しかし初仕事の日、利用者さんから「ありがとう、おいしかったわ」と笑顔をいただいたのがとても嬉しく、ほっとしました。まだまだ未熟者ですが、私もいつかそんなお食事を作れるよう、これから勉強していきたいと思います。子育て支援の活動についても只今勉強中で~す。みなさん、どうぞよろしくお願い致します。

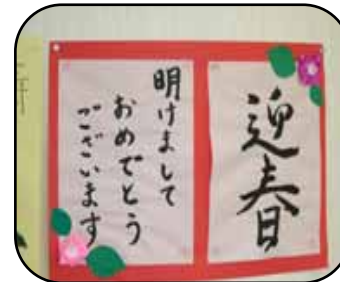
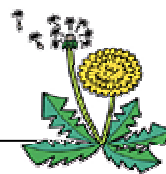


« 編集後記 » 今号の中面記事の「~結 ゆい~」いかがだったでしょうか?人と人がつながっていく事は、ぽぽハウスの活動にとってとても大事にしていかなければいけない事と思います。今年は、このような「ぽぽ」のつながりをご紹介していきたいと思っています。できれば「毎月連載しますっ!」と言いきればよいのですが、なかなか実行できそうに無いので...!^_^。今年もこんな感じでぼちぼちの編集ですが、よろしくおつきあいください。(P)

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより

2009年1月25日発行



新春 書き初め展

(右 高齢者・デイ利用者様
左 児童・デイ利用者様 作品)



お正月恒例 すごろく大会!



♪ ひろば コンサート ♪

12月23日(火) 県立大オーケストラ部
弦楽アンサンブル

1月7日(水) 米原社協ボランティア 松下様
ハーモニカ演奏



結～ゆい～

WITH

未来看護塾とは、滋賀県立大学(彦根市八坂町)人間看護学部の学生さんによるサークルです。学生さんが主体となって、地域活性化に貢献する活動を「看護学部でもなにかできないか」という動きより、彦根市立病院の協力を得て、現場でのボランティア活動をスタートさせたそうです。サークルは、「医療現場で実際に働く看護職や、地域で生活している人々との交流を通し、看護の対人関係の大切さを学ぶ。感性や人間性を磨き『看護力』の向上を目指していく。その上で、人々の生き方を支える事を理想とする『未来の看護のあり方』について考えていく」事を目標としているそうです。この目標は、「誰もが



(2007.3 「ひろば」にて)

生きていてよかった」といえる街づくり」をミッションとするぼぼハウスの理念とも共通するもので、授業としての実習ではなく、自発的に福祉の現場でのボランティア活動を希望する学生さんの活動の場として、高齢者デイや児童デイにボランティアスタッフとして入っていただいたり、子育て支援部の活動(ぼぼクラブすくすく教室・のびのび教室 ハピネスあそびひろば など)に参加していただいています。

「ひろば」では、高齢者の方とお話をしたり、食事を一緒にとってもらったり、子ども達とあそびの中でふれあったりしてもらっています。利用者さんも、いつもと違う(そして、スタッフよりも若い!)学生さんの訪問を歓迎されているようで、孫ほどの年齢の学生さんとおしゃべりを楽しんでいらっやいます。

子育て支援部の活動では、子どもと一緒にあそんだり、運動会やクリスマス会などの行事のお手伝いをしてもらったりと、大活躍です。小さい子ども達は、お兄さん・お姉さんにあそんでもらうのが大好きで、エプロン姿の学生さんが来ている日は、いつもにも増して元気にあそんでいます。学生さんも、普段は小さい子どもと接する機会が少ない為か、すこし緊張しつつ、それでも、自分も楽しみながら汗をかきかき一生懸命あそんでいる姿が印象的です。



(2008.10 ぼぼあそび隊にて)

授業の実習だけでなく、進んで医療や介護・福祉の現場とかわらうとする「未来看護塾」の学生さんたち。卒業後、社会人となり、実際に働くようになったときに、ぼぼハウスでの体験を生かして、高齢者や患者さんなどの弱い立場の人の気持ちがより深く理解できる看護師さんになってくれることと期待します。



(2008.11 ぼぼハッピーまつりにて
ゲームコーナーを担当)

(この記事を作成するにあたり、「近江楽座のススメ 学生力で地域が変わる/4年間の軌跡」 近江楽座学生委員会 編 より一部抜粋させていただきました。)

第8回目(1月)の「すくすく教室」は、「身近なものでおもちゃを作りましょう」というテーマで、開催しました。



当日、お母さん方に子どもさんが入る大きさの段ボール箱を持参していただき、その箱に色画用紙やカラーテープで飾り付けをしてもらいました。飾り付けには、子ども達も参加。気に入った模様のテープを貼り付けたり、色画用紙にクレヨンでおえかきをしたり、中には、ハサミを器用に使って画用紙をちょきちょきと切って貼り付ける子もいました。

最後に、引き紐をつけると、楽しい乗り物の完成!できたてほやほやの自分だけのくるまにさっそく乗り込み、お母さんに引っ張ってもらって、南地区公民館の広いフロアでドライブを楽しんでいました。



(子育て支援部 安河内)

すくすく教室



寒い冬でも
子どもは元気!
お母さんも元気!



のびのび教室

第8回目(1月)の「のびのび教室」は、「からだを動かしてあそびましょう」というテーマで開催しました。

前日降った雪の影響か、少人数での参加になりました。お母さんとのスキンシップあそびにはじまり、南地区公民館の大会議室で思いっきり走り回りました。「よーいどん!」や、新聞紙で作ったしっぽとりゲームでは、お母さんやスタッフも子ども達にとられないよう本気で走りました。マットや平均台、フープを使った運動も喜んで



何度も繰り返してあそんでいました。マットの上を親子でぐるぐる転がってみたり、お母さんが子どもを抱えて、飛行機になったりとたっぶり身体を動かしました。終わる頃には、お母さんも子ども達もニコニコ笑顔。心とからだがかぼかぼか温まった一日でした。



(子育て支援部 手原)